

# キャリア教育だより



群馬県立あさひ特別支援学校

発行：進路支援部

2026.1.30 号外⑰

## 高等部卒業後の生活に向けて ～円滑な移行をめざして～

高等部卒業後の円滑な生活と社会参加をめざし、高校3年生のこの時期に「個別の移行支援計画」を作成しています。この計画は、お子様が卒業後に利用する就労先や福祉サービスなどの関係機関へ、在学中に培った能力、特性、具体的な支援方法を途切れなく引き継ぐことを目的としています。

また、2月から3月にかけて開催される担当者会議（移行支援会議）には、担任も参加し、情報提供と共有を行います。事業所からの要請があれば、担当者が学校に来て、摂食指導の様子を実際に見ていただきながら引き継ぎをすることもあります。これらのことにより、卒業後にお子様を支援してくださる方々のより深い理解を促し、適切な支援の継続につなげていきます。



## R6年度（昨年度）の卒業生の様子から・・・

卒業して一年が経とうとしています。精神面、身体面などでの心配がある生徒もいましたが、概ね問題なく通所できているようです。就労先や通所先の方との関係が良好なことがうかがえ、各所がとても理解があることにより、卒業生自身にとって『安心できる、自分の居場所』となっているようです。

卒業後は、学校での教師との距離感や手厚さがなくなります。そんな中で、進路先でも気兼ねなく会話や相談をしたり、反対に声をかけてもらえたりするような関係性の大切さを、卒後訪問などを通して改めて感じました。

「周りに助けを求める」「困りごとを発信できる」「言葉や声、表情、身振り、動作、目や体の動き等で知らせる」・・・困っているときに自分からサインを出せるよう、学校と家庭とで協力しながら指導・支援をしていきたいと考えます。

『卒後訪問』や『定着支援』などを通して、学校は必要に応じて『いい塩梅の支援』をします。

そして、卒業生が健康で幸せな生活を送ることができるよう願っています。



## 群馬県障害福祉サービス事業所利用状況について



リンクが切れなければ  
このQRコードで左の  
ページに入れます



群馬県 Web ページに「群馬県障害福祉サービス事業所利用に関わるガイドライン」（上の左の囲み）のページがあります。そのページで「群馬県障害福祉サービス事業所利用状況」について年3回（2月・5月・10月）利用状況報告が公開されます。

就業体験・体験学習先を検討する際や、卒業後の利用をにらんで空き状況を確認する際などに参考にできます。

ぜひ御活用ください。URL は次のとおり <https://www.pref.gunma.jp/page/19781.html>

## 😊今年も、心に残る『ちょっといい話』😊

いい話だなーっ



年度末が近づくと、毎年、心に残る『ちょっといい話』が浮かびます。

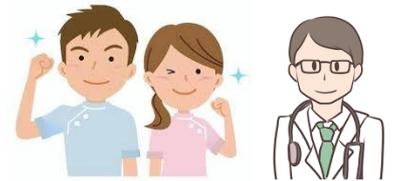
今年も皆様と共有したいエピソードがございます。

高等部Aさんが「リハビリつながり」から情報を得たことに始まります。

Aさん親子は、新規に開所した最新設備を備えた機能訓練に優れた事業所を見学しました。見学後、Aさんの保護者様がパンフレットと共に学校へ情報を提供してくださったので、早速、事業所へ御礼の電話を入れました。すると、数日後、事業所の管理者様が学校へお見えになる運びとなりました。

管理者様が見学を終え、一段落ついたところで、私は思い切って別の方、高等部Bさんのことを相談してみました。Bさんの障害特性等について主治医から助言をいただいていることに触れたところ、管理者様はこうおっしゃいました。

「弊社の理学療法士（PT）は〇〇病院出身者が多く、◇◇ドクターと関係があります。もしかして、Bさんの主治医様は、その◇◇ドクターではございませんか？」



この瞬間、運命的な「縁」と言いますか、「つながり」を強く感じました。

言うまでもなく、Bさんはその後、この事業所で就業体験を行い、卒業後の重要な進路の一つとなりました。今年もまた「だれかの情報が、だれかの進路に結びついた」という心温まるエピソードを共有させていただきました。

昨今、生成 AI の活用などにより生活は大きく変化し、大変便利になってまいりました。しかし一方で、進路指導においては、「人を介して伝えられる情報」や「人と人とのつながり」の大切さを改めて実感しております。

つきましては、保護者の皆様におかれましても、何か進路に関する情報がございましたら、些細なことでも結構ですので、ぜひ学校までお寄せいただけますと幸いです。

